

第53回技能五輪全国大会「抜き型」職種 仕上げ加工の競技上の注意事項

1. 準備中の注意

- (1) 仕上げ競技エリアへの立入りは、準備・自由練習時間も含め、選手及び補助者の計2名までとする。
補助者は、左腕に配付したリボンを付けていない場合立ち入りを認めない。
- (2) 工具のセッティングは、各自、準備・自由練習時間に行うこと。
- (3) 競技終了まで不用な工具箱やウエス等は競技場内の指定された場所に置くこと。
- (4) 手元照明は他の競技者に影響を及ぼさないものとし、作業台下のコンセントから配線すること。
- (5) 図面立ては、A3(297×420)の大きさとする。
- (6) 作業台、棚、ヤスリ棚、踏台、マット、圧入用台の規定
作業台：大きさがW1250以下×D1000以下×H750程度(天板厚み50～100)、引き出しが付いている場合、使用しない旨が分かるように明記したテープを貼り、開かないようにすること。
隣の作業台(天板)との間隔は50とする。
棚：作業台の寸法以下の広さで、高さが300以下、作業台の縁から出ないもの。
やすり棚：大きさがW300×D400×H950以下のもの。作業台の端に密着させて付けておくこと。
踏台：やすり棚からはみ出さないもの。
マット：やすり棚から200を越えないこと。
圧入用台：W500×D500×H900以下のもの。

2. 競技前の注意

- (1) 選手集合前の競技場内への立入りは、原則禁止する。やむなく立ち入る場合は、競技委員または補佐員の許可を得ること。
- (2) 練習用素材は、持参工具点検の前に提出、または補助者がエリア外へ持ち出すこと。
- (3) 持参工具の点検は、工具一覧表の順序に従って競技委員と補佐員が巡回して行う。
- (4) 競技中、昼食休憩時は携帯電話等の電源を切っておくこと。
- (5) 素材は原則として、交換しない。万一、材料の内部にキズ等が見つかった時は競技委員の合議により、競技時間や採点上で不利とならないように取り扱う。
- (6) 素材検査の時、素材の測定、砥石およびヤスリ加工は、一切行ってはならない。素材の洗浄、脱脂、脱磁作業に限り行うことができる。
- (7) 競技図面および計算用紙は配布したもの以外は、一切使用してはならない。
- (8) 競技開始、中断、再開、終了は笛で合図する。
競技開始、中断、再開、終了の「一分前」は、口頭で知らせる。

3. 競技中の注意(*項目に反する場合は減点とする)

- * (1) マイクロメータ等の検定に使用したブロックゲージは指定の封筒に入れるか、封筒に入らない大きさのものは、封筒をはり付けて作業台又は棚の見易い所に置くこと。
- * (2) 他の選手の競技を妨害する行為をしない。競技委員の制止を聞き入れないときは減点もしくは退場を命ずることがある。
- * (3) 圧入作業は圧入用台で行うこと。その他の打撃作業は、作業台上でも可とする。
- * (4) 不安全作業をしないこと。
- (5) けがや打撲等の治療は、選手または指導員から申し出ること。
注：看護師・競技委員が競技続行不可能と判断した場合は競技を中止する。
- (6) 平行クランプセット時の樹脂等のコ形形状補助具等の使用可とする。
- (7) 自己の責任によらないトラブル(停電等)で待ち時間が必要となった時は、競技委員または補佐員に申し出て時間の記録をしてもらう。この時、別の作業をしてはならない。
- (8) 持参工具等一覧表にない工具、または本来の目的以外に工具を使用した場合には、その使用を禁ずることがある。
- (9) 手洗い等で会場を離れる時は、競技委員または補佐員の了解を得ること。

公 表

- (10) 競技時間の計算は、競技会場の基準時計をもって行う。
- ・ 競技時間、待ち時間は分単位とする。
 - ・ 分未満は、待ち時間の開始時は切り捨て、競技時間、待ち時間の終了時は切り上げる。
 - ・ 競技終了の順位は同一の分単位内であれば挙手の早い方とする。
 - ・ 競技時間の延長は減点対象となり、機械加工と合計して20分以内とする。

4. 競技終了時の注意

- (1) 作品が完成したら、「はい」と大きな発声と挙手で合図し、補佐員に時間を確認してもらう。
なお、競技委員の確認があるまで、挙手の状態にいること。
- (2) 完成とは、作品が組み合わされた状態にあるものとする。
- (3) 終了時間の確認をしてもらった後、作品の洗浄（青ニス、マジック等の完全除去）、防錆処理、梱包を行う。ただし、油砥石、測定器類等は一切使用しないこと。
- (4) この作業終了後、作品を所定の場所に運んでゼッケンと共に提出し、一旦退場する。
- (5) 標準時間終了1分前を口頭で合図
- (6) 標準時間終了を笛で合図
- (7) 打ち切り時間の5分前を口頭で個別伝達
- (8) 競技終了を口頭で個別伝達
ただし、待ち時間のある選手は、前もって補佐員から知らされた時間だけ作業を続ける。
- (9) その他の選手は必要な洗浄等の作業をし、作品を提出して、競技場内から一旦退出し、再度、集合の合図があるまで待機すること。（完成から作品提出までの洗浄・梱包に要する時間は、15分以内とする）
- (10) 後片付け及び清掃は、全選手の作品が提出された後、全員集合し競技委員の合図で始める。